みんなが主役

ささえあいのまちづくりをめざして

法人設立40周年記念誌

社会福祉法人
武蔵野市民社会福祉協議会
Musashino Citizen-Council of Social Welfare

目次

ご挨拶・祝辞・・・・・・・・・・・Ｐ２
市民社協へようこそ！・・・・・・・Ｐ４
地域社協（福祉の会）マップ・・・Ｐ１２
交流の場マップ・・・・・・・・・Ｐ１３
この１０年間の主なできごと・・Ｐ１４
記念誌の発行にあたって・・・・Ｐ２０

市民社協マスコットキャラクター
あいあい

こんな時は市民社協へ

こんなことありませんか？

・近所に知り合いがほしい（地域社協・交流の場）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ５／Ｐ１３
・話し相手のボランティアをお願いしたい（ボランティアセンター武蔵野）・・・・・・・・・Ｐ５
・８０歳の母が武蔵野市に引っ越してきた。老人会はありますか？（老人クラブ連合会）・・・Ｐ６
・ボランティア団体を立ち上げたが資金で困っている（ボランティア・地域福祉活動助成）・・Ｐ６
・髪を切りたいが、美容院（理髪店）まで行くことができない（理容・美容サービス）・・・・Ｐ７
・車いすの生活で出かけるのに交通手段がない（レモンキャブ）・・・・・・・・・・・・・・Ｐ７
・今度、子どもが小学生に。必要な物を揃えたいが家計が苦しい（小学校入学祝金）・・・・・Ｐ７
・急にケガをした。車いすを借りたい（車いすの貸出）・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ８
・子どもが受験生。塾の費用や受験料を借りたい（受験生チャレンジ支援貸付）・・・・・・・Ｐ８
・東日本大震災の影響で武蔵野市に引っ越してきた（避難者支援）・・・・・・・・・・・・・Ｐ８

少しでもお役に立てれば（協力したい）

・定年退職した。何か地域の活動をしてみたい（地域社協・ボランティアセンター武蔵野）・　Ｐ５
・夏休みにボランティアをしてみたい（地域社協・ボランティアセンター武蔵野）・・・・・　Ｐ５
・亡くなった母が集めていた毛糸を寄贈したい（お仕事サロン）・・・・・・・・・・・・・　Ｐ５
・趣味のゴルフで地域貢献したい（チャリティゴルフ大会）・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ９
・父のためにいただいたお香典を寄付したい（寄付）・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１１
・文化祭の屋台の売り上げを寄付したい（寄付）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ１１
・ご近所なら募金を集めるお手伝いができる（歳末たすけあい・地域福祉活動募金）・・・・Ｐ１１

市民社協のシンボルマーク

昭和61年11月、応募59作品の中からフリーデザイナー・山崎徹二氏の作品が選ばれました。市民（男子、女子と子ども）のつながりを表現、武蔵野市の頭文字“M”を象徴しています。

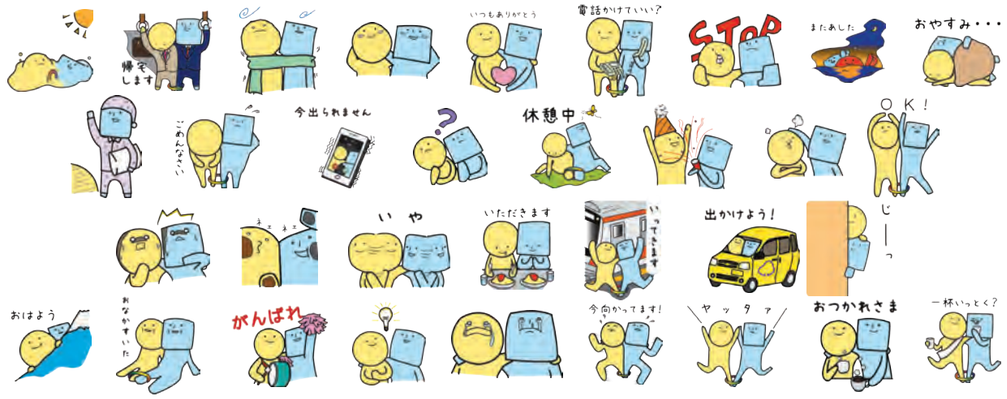
市民社協のマスコットキャラクター

法人設立30周年を記念して、マスコットキャラクターのデザインと愛称を募集し、中村沙月さんのデザインにより決定しました。形の違う「まち」と「市民」とが二人三脚のようにお互いに支え合って「まちづくり」を進めていく、ということをイメージしています。名前は、「助けあい（愛）」「ささえあい（愛）」をとおして、より一層の福祉社会の向上・推進を願って、神田緋紗（ひさ）さんが名付けた「あいあい」に投票の結果決まりました。

市民社協ＬＩＮＥスタンプ

市民社協Ｆａｃｅｂｏｏｋ

＼色々なあいあいに出会える！／



法人設立40周年記念誌
みんなが主役　ささえあいのまちづくりをめざして

発行年月　平成30年（2018年）7月
発　　行　社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会
東京都武蔵野市吉祥寺北町1−9−1
ＴＥＬ：0422−23−0701（市民社協）0422−23−1170（VCM）
ＦＡＸ：0422−23−1180（共通）
E-Mail：shimin@shakyou.or.jp（市民社協）　vcm@shakyou.or.jp（VCM）
Ｈ　Ｐ：http://www.shakyou.or.jp/
編　　集　法人設立40周年記念事業実行委員会
制　　作　株式会社スイベルアンドノット

ご 挨 拶・祝 辞

法人設立40周年を迎えて

社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会会長
小美濃　純彌

昭和53年（1978年）4月24日、社会福祉協議会として全国で初めて「民」の字を入れた「武蔵野市民社会福祉協議会（市民社協）」が、社会福祉法人として認可されてから40年の年を迎えることができました。これもひとえに、日頃より本会を支えてくださる全ての皆様のご支援、ご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。

本会が法人設立30周年を迎えた平成20年（2008年）以降の10年間を振り返りましても、マスコットキャラクター「あいあい」の誕生や、世界金融危機の影響により支援を必要とする方々を対象とした各種事業の実施、吉祥寺北町への事務所移転、東日本大震災をはじめとする大規模災害に伴う被災地への支援の呼びかけ等、様々な出来事がありました。

本誌は、この10年間の主な事業や出来事を振り返ると同時に、「一人でも多くの方に市民社協のことを知っていただきたい」との願いから、ご覧になる方と市民社協との「かかわり」を念頭に、心をこめて作成したものです。様々な機会を通じた、市民社協のご紹介の一助となれば幸いに存じます。

さて、平成30年度（2018年度）は、本会にとりまして、第４次武蔵野市民地域福祉活動計画（仮称）の策定にも取り組む節目の年となります。第３次の同計画において掲げた地域福祉コーディネーターや、居場所づくりの展開等の重点目標の推進のため、近年は地域専任担当職員の配置や、身近な地域の居場所づくり助成・支援事業等の新たな取り組みを行ってまいりました。

昨今、国により提唱されている「地域共生社会」は、地域住民や地域の様々な団体が参画し、世代や分野を超えてつながることで、住民一人一人の暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会を目指すものであり、このことは本会の法人設立当初の思いである「住民一人一人の参加による市民福祉の充実」にも相通ずるものです。「みんなが主役　ささえあいのまちづくり」の一層の実現のため、これまでの歴史や先達の志を大切にしつつ、新たな計画の策定に向け、役職員が一丸となって取り組んでまいる所存です。

末筆となりましたが、今後も皆様の変わらぬご支援・ご協力を賜りますようお願いを申し上げ、法人設立40周年のご挨拶とさせていただきます。

市民社協法人設立40周年によせて

武蔵野市長
社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会名誉会長
松下　玲子

このたび、社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会が法人設立40周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

貴協議会は、昭和37年６月に社会福祉協議会を設立し、昭和53年には武蔵野市の伝統である「市民自治・市民参加」を基に、全国で初めて名称に「民」の字を加えた武蔵野市民社会福祉協議会として社会福祉法人に認可され、現在に至っています。

貴協議会では、「みんなが主役　ささえあいのまちづくりをめざして」という基本理念のもと、地域福祉活動推進協議会（地域社協、福祉の会）の活動支援をはじめ、地域に密着した幅広い事業を展開し、着実に実績を重ねて来られました。改めて敬意と感謝の意を表します。

近年、少子高齢化の進展や社会経済状況の変化等により、子育てと介護、医療と介護が同時に行われるといった複合的な課題が増加している傾向にあります。これらの課題の解決には、医療・介護・福祉の制度・分野を超えた連携を進めることが必要となってきます。

本市では、平成30年度（2018年度）から平成35年度（2023年度）までの６年間を計画期間とする「武蔵野市第３期健康福祉総合計画」を策定いたしました。

第３期健康福祉総合計画では、基本理念である「地域リハビリテーション」のもと、市の健康福祉分野における４つの個別計画（①第５期地域福祉計画、②高齢者福祉計画・第７期介護保険事業計画、③障害者計画・第５期障害福祉計画・障害児福祉計画、④第４期健康推進計画・食育推進計画）に共通する横断的な課題や連携すべき課題を総合的に整理し、市の目指すべき方向性と総合目標を明確にし、重点的取組みを定めました。この取組みを推進することで総合目標である「誰もが いきいきと 安心して 住み続けられる 支え合いのまち」の実現をめざしてまいります。皆様方におかれましては、武蔵野市における健康福祉の推進のため、より一層のお力添えを賜りますよう心よりお願い申し上げます。

結びに、貴協議会におかれましては、これからも武蔵野市の地域福祉を推進する中心的役割を担う組織として今後ますますご発展されますことをお祈りするとともに、関係各位皆様方のさらなるご活躍とご健勝を祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。

お祝いの言葉

武蔵野市議会議長
本間　まさよ

社会福祉法人武蔵野市民社会福祉協議会法人設立40周年おめでとうございます。

貴協議会は市民の皆さんが、同じ地域に暮らす人々と協力して地域福祉の充実をめざし、昭和37年に社会福祉協議会が設立され、昭和53年に社会福祉法人として認可されました。

名称も、「市民とともに、市民が主役の社会福祉協議会」という意味の、武蔵野市民社会福祉協議会となっています。貴協議会は名称のとおり、誰もが安心して暮らせるまち武蔵野市を目指して、市民のみなさんと共に福祉のまちづくりを進めるために、様々な事業に取り組んで頂いております。

市内13の地域で活動されている地域社協（福祉の会）でも、見守り・声かけ、福祉や防災、居場所づくり、災害時要援護者対策事業の支援、広報紙の発行など地域の市民を結ぶ多彩な事業が行われています。

私の住む町でも、地域社協の年間行事を楽しみにしている高齢者の方が、たくさんいらっしゃいます。また、地域社協主催のイベントのお誘いを頂く中で、つながりが薄かった方が、地域のことを知り、知り合いが増えたと喜ばれています。長年にわたり、福祉の中心機関として行政では手が届きにくい、きめ細かな分野での援助、誰もが暮らしやすいまちづくりの推進に貢献いただいておりますことに心からお礼を申し上げます。

昨今、少子高齢化や核家族化が進み、地域のつながりが希薄化する中、福祉に関する課題は多様化、複雑化しております。市民の皆さんが安心して暮らしていくためには、地域でお互いに支え合い、助け合うことも重要です。

市議会といたしましても、地域福祉の充実のために、貴協議会と連携を図り、誰もが安心して住み続けられるまちづくりのために、一層の努力をしてまいります。今後ともご理解とご協力を賜わりますよう、お願い申し上げます。

結びに、武蔵野市民社会福祉協議会のますますのご発展、皆様のご健勝、ご多幸をお祈り申しあげまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

市民社協へようこそ！

（武蔵野市民社会福祉協議会事業概要）

※掲載内容は平成 30 年 5 月現在

社会福祉協議会とは？

社会福祉協議会は、社会福祉法において「地域福祉の推進役」に位置付けられ、国、東京都、市区町村毎に設置された民間の社会福祉団体です。武蔵野市民社会福祉協議会は、昭和53年（1978年）4月24日に社会福祉法人として認可され、「市民が主役の社協」という思いから、全国ではじめてその名に「民」の文字が入りました。略して「市民社協」と呼ばれています。

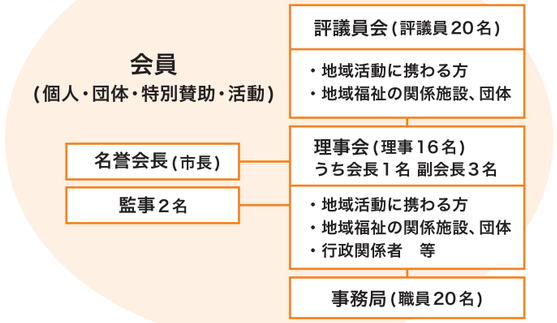
行政とは違うの？

法人格のある独立した民間団体で、市内外の多くの個人、団体、関係機関の皆様による、運営に関するご協力や、会費、寄付、募金等に支えていただいています。公益性の高い法人であるため、行政による財政支援や、事業の受託、連携等を行っていますが、行政の組織ではありません。

どんなことをしているの？

様々な事業を行っているため、一言で「○○をしているところ」と表現することは難しいですが、「市民が主役　ささえあいのまちづくりをめざして」を基本理念に、市民が行う福祉活動のお手伝いや、支援を必要とする方を支える事業等を中心に行っています。

市民社協組織図



あなたと市民社協とのかかわり方

一人でも多くの方との「かかわり」が、地域の福祉の一層の充実につながります。
ここからは、市民社協の様々な事業をご紹介するとともに、あなたとそれぞれの事業とのかかわり例を以下のマークで記載しています。

参加マーク
地域活動等を始めたり、すでに活動されている方のお手伝い、行事への参加等ができる事業です。

利用マーク
ご希望の方は、それぞれの要件等をご案内します。
まずはお気軽に市民社協までご相談ください。

情報マーク
広報紙等で情報を発信しています。ぜひご覧ください。

寄付マーク
忙しくてなかなか時間がない…という方も、寄付等を通じて福祉に貢献できる事業です。

（お問い合わせ）　市民社協 0422-23-0701　ボランティアセンター武蔵野 0422-23-1170

1 地域での福祉活動を支えるための取り組み

地域社協（福祉の会）の支援

武蔵野市では、隣近所で支え合い、いざというときに助け合える関係づくりを目的とした活動を行う「地域福祉活動推進協議会」が、市内13の地域にあります。通称で「○○地域社協」や「○○福祉の会」（以下、地域社協と記載）と呼ばれ、市民社協では地域社協に対して様々な支援を行っています。

詳細は12ページをご覧ください！

主な活動　※地域によって異なります

・高齢者や子育て中の親子を対象としたサロン
・ご近所同士が交流できる場（丁目ごとの食事会、懇親会等）
・災害時要援護者対策事業　等

地域社協で活動されている方は、あなたと同じ住民の方です。高齢者や乳幼児親子を対象としたサロン活動、ご近所同士が交流できる場等、いつでもご参加ください。
また、このような近所の地域活動に一緒に取り組んでくださる方も大歓迎です。サロン活動等のお手伝いから、チラシの作成まで・・・。空いた時間にできる活動もたくさんあります。
全ての地域社協で広報紙を発行（年１回～４回）していますので、ぜひご覧ください。

ご存知ですか？「災害時要援護者対策事業（安否確認）」

地震等の災害が起きた際、事前に登録された高齢者や障がい者等（災害時要援護者）の安否確認を行う、近隣住民の方（支援者）を決めておく武蔵野市の事業です。市内全域で実施されており、地域社協が支援者の募集や、要援護者とのマッチング、安否確認訓練等を行い、全面的に協力するかたちで実施されています。

ボランティアセンター武蔵野（VCM）

ボランティア活動の「したい」と「してほしい」の気持ちをつなげる事業を中心に、ボランティア活動に役立つ情報や、参加を促すための様々な取り組みを行っています。

主な事業

・ボランティア養成講座　・お父さんお帰りなさいパーティ　・ボランティアコーディネート
・夏！体験ボランティア　・ＶＣＭ通信（偶数月）発行　・お仕事サロン　等

ボランティアをやってみたい方、ボランティアの力を借りたい方はお気軽にご相談ください。
また、初心者向けのボランティア講座・ボランティアイベント等も開催していますので、ぜひご参加ください。

お仕事サロン

寄付していただいた毛糸等で手芸作品を作ったり、使用済み切手の整理をするボランティア活動です。
・第２水曜日10時～15時（ボランティアセンター武蔵野中町分室）
・第３火曜日10時～15時（市民社協会議室）
・第３水曜日10時～12時（㈱いたれりつくせりフリースペース境2-8-1 MSビル１階）

→13ページのマップもご覧ください。

ボランティア・地域福祉活動助成

「歳末たすけあい・地域福祉活動募金」の一部や、横河・100円募金の会からのご寄付により行われています。市民等の委員による「武蔵野地区配分推せん委員会」による審査があります。

ボランティア団体として福祉活動等を行っている方は、助成の対象となる可能性があります。

例年、４月～５月頃にかけて募集を行っています。ボランティア団体として活動を始めたい…というご相談も受け付けています。

身近な地域の居場所づくり助成・支援

市民同士の顔の見える関係づくりを目的とした、「身近な居場所」のための取り組みを応援する制度です。新しく活動を始める方や、活動中の悩みごと等の相談対応、活動費の助成等を行っています。

→13ページのマップもご覧ください！

「近所の方と顔見知りになりたい、おしゃべりをしたい」という方、一度近くの居場所に参加してみませんか。「空いている部屋を居場所に使いたい」「自分で居場所活動を始めてみたい」という方もお気軽にご相談ください。

シニア支え合いポイント

介護予防や健康づくりのため、65歳以上の市民が特定の福祉施設・団体等で行った社会貢献活動にポイントをつけ、年度ごとの獲得ポイント数に応じて、ギフト券等に還元される制度です。

まずは広報紙等でお知らせする説明会兼研修会にご参加ください。

獲得したポイントは、市民社協に寄付していただくこともできます。

武蔵野市老人クラブ連合会

おおむね60歳以上の市民が参加する市内30の老人クラブの連絡調整や、総合的な事業を実施する老人クラブ連合会の事務局を担っています。

芸能文化祭や社会見学、フラワーアレンジメント教室、グラウンドゴルフ大会、「武老連だより」の発行等の取り組みを行っています。

連合会の活動は市報等でご案内しています。行事によっては老人クラブに所属していない方でも、ご参加いただけるものもあります。

2 支援を必要とする方を支えるための取り組み

外出困難高齢者・重度心身障害者訪問理容・美容サービス

外出することが難しい高齢者や障がいのある方のために、市内の理容・美容店がご自宅まで訪問して調髪等を行う制度です。

要介護度や障害種別・等級等の要件があります。対象の方には、最多で年間５回分までの理容券・美容券が発行されます。

移送サービス（レモンキャブ）

高齢者や障がいのある方で、バスやタクシー等の公共交通機関をおひとりで利用することが難しい方のための外出支援制度です。主に市民の方（運行協力員）が運転する９台のレモンキャブが、武蔵野市内と隣接する市区の範囲内を運行します。

普段の生活状況や、お体の状態等を伺い、要件を確認したうえで、利用方法等を詳しくご案内します。

テンミリオンハウス起業・運営支援

武蔵野市が設置する８か所の「テンミリオンハウス」が、それぞれの施設でミニデイサービス等の事業を行っています。市民社協はテンミリオンハウスを運営する市民団体等の活動を支援しています。

→13ページのマップもご覧ください！

おひとりで通うことのできる高齢者が、昼食をとったり、プログラム（体操、手芸、歌、健康麻雀、書道等）を楽しみながら仲間づくりを行います。また、プログラムの講師、庭の手入れ、広報紙づくり等のボランティアも募集しています。

高校生教材代支給、むさしのジャンボリー※参加費支給、小学校入学祝金支給、交通遺児家庭援護費支給

お子さんのいる一定所得以下の世帯を対象に、支給を行っています。

※武蔵野市と武蔵野市青少年問題協議会地区委員会が行う自然体験教室

市民社協がお子さんに必要となる費用の一部を支給します。いずれの制度も、収入基準や要件があります。

東日本大震災市内避難者支援

東日本大震災の影響により武蔵野市に避難されている方々を対象に、職員の戸別訪問による生活状況の把握や相談、避難者同士の交流や顔なじみの関係づくりを目的とした交流会等を実施しています。

避難者の方には、職員が訪問の際にお届けするチラシや、武蔵野市が発行する「避難者サポートニュース」等で交流会等をお知らせしています。

車いすの貸出

ケガ等により一時的に車いすを必要とする市民の方に、１か月間を限度とした無料貸出を行っています。

自走式（乗る方が自分で移動できるもの）と、介助式（付き添いの方が、後ろから押すもの）の２種類の車いすがあります。台数に限りがあるため、空き状況は事前にご確認ください。

自走式

介助式

3 福祉資金の融資

生活福祉資金（生活資金・入学資金）貸付

一定の所得以下の世帯で、一時的に資金が不足する場合に、無利子もしくは低利子で資金の貸付を行う制度です。

【貸付の例】

貸付の種類	主な内容
教育支援資金	高等学校、大学等にかかる入学金、授業料　等
福祉資金	転居費用、療養費用、障がいのある方の自動車購入費用　等
緊急小口資金	緊急で一時的に必要となる費用
総合支援資金	失業期間中に、生活再建のために必要となる費用
不動産担保型生活資金	所有の自宅（戸建）を担保に、生活費の不足を補うための費用

受験生チャレンジ支援貸付

中学３年生、高校３年生（浪人生含む）がいる一定の所得以下の世帯で、受験に備えた塾にかかる費用や、高校・大学等の受験にかかる費用について無利子で貸付を行う制度です。高校・大学等に進学すると返済が免除になります。

現在とこれまでの生活状況や、収入状況等を詳しく伺い、要件を確認したうえで、利用方法等をご案内します。制度の利用までに１ヶ月以上かかる場合がありますのでお早めにご相談ください。

4 講座・イベント等の取り組み

七夕のつどい

市民社協の活動を支えていただく会員の皆様に感謝の気持ちを込めて、市民社協の事業報告や、映画の上映等を行います。

会員の方をご招待しますので、ぜひご参加ください。会員ではない方も、当日会場でご入会いただくことができます。

ドライブレクリエーション

障がいのある方の外出支援や交流を目的として、都内近郊の様々な場所に個人タクシーで外出するレクリエーションを行っています。東京都個人タクシー協同組合武三支部のご協力による取り組みです。

現在はNPO法人ミューのご協力により、精神に障がいのある方が参加されています。当日お手伝いいただくボランティアの方も募集します。

チャリティゴルフ大会

チャリティを目的として開催するゴルフ大会です。大会を通じて得られた収益は、市民社協の事業に活用させていただきます。

ゴルフを通じて、楽しく福祉に貢献しませんか？広報紙等で参加者を募集します。また、企業や関係機関等の皆様に、協賛金や協賛品によるご協力もお願いしています。

ふれあい福祉学習

高齢者の理解を目的とした授業を市内の小中学校、高校で実施しています。子どもたちが他者の生活を学び、自身にできることを考える機会を提供しています。

高齢者福祉の仕事をされている方（経験のある方）で構成される、「ふれあい福祉学習委員会」の委員が講師です。また、ボランティアとして授業当日のお手伝いをしていただく方も募集しています。

地域福祉ファシリテーター養成講座

武蔵野・三鷹・小金井の3市・社協とルーテル学院大学の共催により行われる連続講座です。

地域の活動に関心のある方はどなたでも参加できます。活動に役立つ知識や事例等を三鷹市・小金井市の方と一緒に学んでみませんか？

障害者支援活動

障がいのある方を支えるボランティアの育成を目的とした「手話講習会・点訳講習会」等の講座や、障がいへの理解を広め、「誰にとっても住みやすいまち」について考える機会を提供する「出前講座」を実施しています。

技術（手話・点字）を身につけて、障がいのある方を支えてくださいませんか？また、出前講座の実施を希望する学校や企業の皆様も募集しています。

～地域社協（福祉の会）マップ～

近くに住んでいる人と出会える！！

地域社協（福祉の会）に参加してみませんか？

自分の家の近所のことや近所に住む人のことをどのくらい知っていますか？
近所の人と知り合いになることは、いざという時にとても心強いことです。
地域社協（福祉の会）の活動に参加して、ご近所の顔見知りを増やしましょう！

市民社協による地域社協への支援

地域専任担当職員による活動の支援

市民社協の地域専任担当職員が各地域社協の活動や会議への出席、イベントへの参加等を通じて支援しています。日頃からできる限り地域へ出向き、活動に関することを住民のみなさんと一緒に考えています。

活動費の助成

各地域社協に対して、年間40万円を上限とした活動費の助成を行っています。

代表者連絡会の開催

奇数月に各地域社協の代表者が集まり、他地域との情報交換等を行います。
地域社協同士の情報共有の他、武蔵野市からの連絡事項や市民社協からの情報提供等も行っています。

地域社協運営委員研修実行委員会

各地域社協の有志の方々に集まっていただき、地域社協運営委員向けの研修会の内容について企画、実施します。自分達の研修を自分達で企画運営する実行委員会を市民社協がバックアップしています。

桜野地域社協

①：桜堤全域、境５丁目
②：地域交流事業（七夕お飾りの会・うどん会・昔遊び）
③：七夕お飾りの会やうどん会などの行事では、開催の度に多くの方が参加してくださり、世代を越えた地域交流が叶っていると実感しています。これからも地域の皆様に楽しんでいただける交流会を企画運営したいです。

境福祉の会

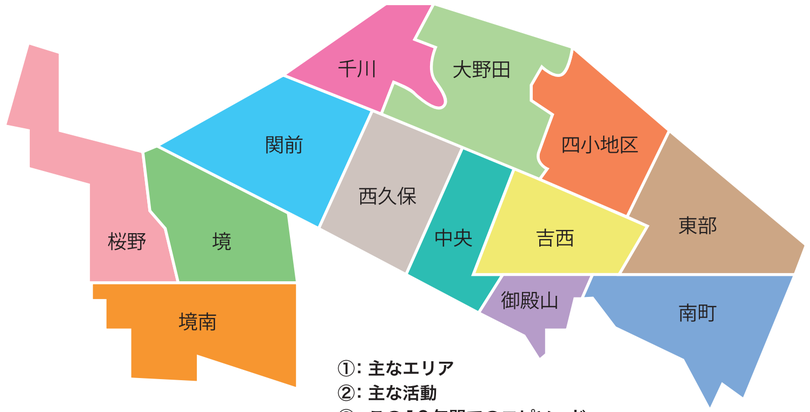
①：境１～４丁目
②：地域交流お楽しみ会／安心安全助けあいネットワーク／境学習室・自習室
③：長年続いているお楽しみ会やクリスマス会など、子どもから高齢者まで地域が一つになる行事を行ってきました。境学習室・自習室を開設してから３年が経ち、子どもたちとより良い関係を築き、楽しみの一つになりました。また、丁目の枠を越えた合同のネットワーク活動もご好評をいただいております。

関前福祉の会

①：関前全域
②：声かけ運動／健康マージャン／関前ウォーク
③：「歩く楽しみをお友達とご一緒に」と始めた頃は、10名前後の参加であった関前ウォークも、現在は毎回30名を超えるほどになり、おととし10月に月1回ペース10年間、100回記念ウォークを迎える事が出来ました。今後もウォークをはじめ、地域の約20団体が共催して挨拶が飛び交う明るい街を目指す「声かけ運動」などを続けることで、人がつながる地域づくりに地道に貢献できればと願っています。

千川地域社協

①：八幡町全域、緑町２丁目の一部
②：千川地域福祉まつり／さろん千川／おりがみのつどい／写経体験など
③：「支え合おう！大きな家族　千川」家族の幸せこそ福祉の原点と思います。
千川地域福祉まつりには子どもからお年寄りまで、家族そろって参加、お年寄りが乗った車いすを押す子どものほほえましい姿がみられます。
また「写経体験」や「おりがみのつどい」などを通じて新しい交流が広がってきています。



①：主なエリア
②：主な活動
③：この10年間でのエピソード

大野田福祉の会

①：吉祥寺北町4，5丁目、3丁目の一部、緑町１，３丁目、２丁目の一部
②：部会・プロジェクトを通じたささえあいのまちづくりの活動
③：昨年度オープンした「ふらっと・きたまち」は初めて地域社協が運営を任されたテンミリオンハウスです。開設にこぎ付けるまでに、それはそれは多くの議論を重ね、多くの人が意見を出し合い、想像力をフル稼働して計画を練り、プレゼンテーションを経て運営を勝ち取りました。「開設を祝う会」では、壁に大きな樹を描き、みんなの思いを綴った花や葉を張り付けて、これからの成長を祈りました。

四小地区福祉の会

①：吉祥寺北町１，２丁目、３丁目の一部、吉祥寺東町の一部
②：高齢者・障がい者向け活動（にこにこ体操・お花見・クリスマス会等）／にこカフェ
③：平成26年に始まった「にこカフェ」に毎回80代の男性が参加していました。ある時、奥様から「主人は亡くなりましたがいつも身なりを整え、話題の資料を準備し、楽しみに出かけていました。皆様に感謝しています」と伺いました。最近では92歳の男性が「一度参加したいと思っていてようやく来ました。家族以外と話をすることはほとんどなく、若い人にやさしくしてもらい、うれしかった」と言っていました。

吉西福祉の会

①：吉祥寺本町２～４丁目、１丁目の一部
②：あじさいひろば／ひろばひよこ／ひなまつりの集い／ささえあいネットワークづくり（回覧板・サポーターのつどい）
③：子育て支援の“ひろばひよこ”を立ち上げた事で、４つの部会（ふれあい部会、子育て部会、防災部会、広報部会）の「しくみづくり」が確立してきた。地域交流会を開催し、地域の団体・個人との意見交換で、「西公園なかよし祭り」開催へ動きだしていること。顔見知りが増えて“いざ”という時のためにも太い絆がつながり始めている。

東部福祉の会

①：吉祥寺東町全域、本町１丁目の一部
②：東部フェスティバル／情報交換会／若菜会／○○県を知ろう
③：地域の福祉資源を結集した東部フェスティバルが、東日本大震災を経て防災面も加え定着した事。災害時の安否確認事業が、皆さんの協力で形になった事。交流と情報交換の場である若菜会が盛会となり、たんぽぽサロンがおしゃべりの場になって来た事。そしてこどもスタッフくらぶ活動で、ボランティアマインドが育っている事。

中央福祉の会

①：中町全域、御殿山２丁目
②：りんどうの会／親子ニコニコ広場／地域の団体との懇談会／地域集会
③：りんどうの会「ひな祭り」に毎年来てくださる一中生と高齢者との交流。親子ニコニコ広場に集まる子ども達の成長。そして顔なじみのお母様方が「今日で広場卒業です」と挨拶してくださる。ミニ集会の積み重ねが防災町会等に発展していく。それぞれに心温まる人と人との触れ合いがあり、陰にスタッフの努力と優しさ（ここ数年男性パワー大）がありました。

境南地域社協

①：境南町全域
②：ネットワークづくり（丁目活動）／おしゃべりサロン
③：「誰もが安心して住めるまち」を目標に発会して以来、20数年経ちました。これまで色々な活動をとおして人びとの輪を広げています。平成27年度には、20周年を節目として祝賀会を開催いたしました。多くの来賓の方の出席のもと、ふれあいコンサートや懇親会を行い楽しいひと時を過ごしました。周年行事をするにあたっては、バザーを実施し、地域の団体にもご協力いただき、あらためて地域の皆様の温かさを感じました。

西久保福祉の会

①：西久保全域
②：ふれあいルーム（高齢者対象食事会）
③：白杖をついてＡさんは、お仲間と一緒に今月もふれあいルームに参加してくれました。Ａさんは以前、ふれあいルームのボランティアでした。食事作りや認知症のおばあさんの送迎をしていました。歳月流れＡさんは主催者側から利用者に。私は、Ａさん達から支え合う循環の素晴らしさを教えられました。

御殿山福祉の会

①：御殿山１丁目
②：チャリティーカラオケ大会／健康講座／みんなでカフェ
③：今年も開催予定の第16回チャリティーカラオケ大会。当初はカラオケ大好きな方の発表会でしたが「折角なら聞く方も楽しもう」と発想転換。市民社協・ゆとりえ職員も参加！！お蔭で変装したりドレスで着飾ったり、紙ヒコーキや紙吹雪が舞い、かけ声笑い声が溢れ、会場一体となったイベントになりました。今後も楽しく続けたいと思います。

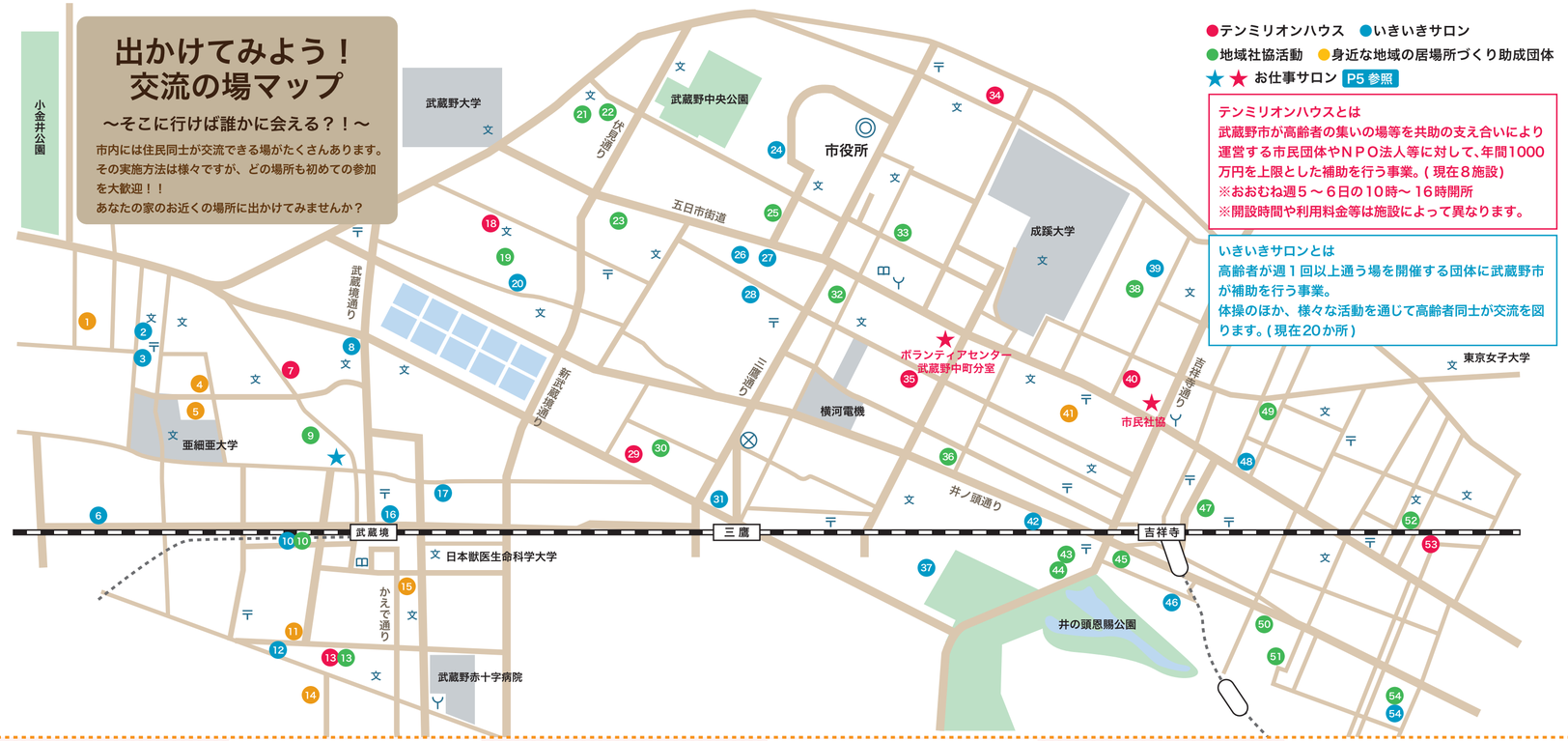
南町福祉の会

①：吉祥寺南町全域
②：交流ハウス南町／ボランティア交流会／高齢者・障がい者のためのクリスマス会
③：コミセン改修の為、ゆとりえで開催した「知りあい・ふれあい・支えあう 福祉の輪（4団体共催）」「クリスマス会」は、地域の方々の評判も良く、新しい試み「カフェ♡君の名は」の開催と共に、思いがけない地域力が発揮され、福祉の会の“これから”に期待が持てました。29年度の新発見!!ゆとりえとのつながりでした。

出かけてみよう！交流の場マップ

～そこに行けば誰かに会える？！～

市内には住民同士が交流できる場がたくさんあります。
その実施方法は様々ですが、どの場所も初めての参加を大歓迎！！
あなたの家のお近くの場所に出かけてみませんか？



●テンミリオンハウス　●いきいきサロン
●地域社協活動　●身近な地域の居場所づくり助成団体
★★ お仕事サロン　P5 参照

テンミリオンハウスとは
武蔵野市が高齢者の集いの場等を共助の支え合いにより運営する市民団体やＮＰＯ法人等に対して、年間1000万円を上限とした補助を行う事業。(現在８施設)
※おおむね週５～６日の10時～16時開所
※開設時間や利用料金等は施設によって異なります。

いきいきサロンとは
高齢者が週１回以上通う場を開催する団体に武蔵野市が補助を行う事業。
体操のほか、様々な活動を通じて高齢者同士が交流を図ります。(現在20か所)

1 つどい
活動場所：桜堤2-8-8パークシティ武蔵野桜堤フォレストハウス内キッチンスタジオ
活動曜日・時間：毎月20日
13時30分～15時30分
内容：マンション内外の年齢を問わない交流の場

2 ｉｋｉなまちかど保健室
活動場所：桜堤1-8-7
活動曜日・時間：毎週月曜日 10時～15時
内容：脳トレ、物づくり、ハンドベル等

3 よりあい食堂かよう
活動場所：桜堤1-3サンヴァリエ桜堤中央集会所
活動曜日・時間：毎週火曜日 11時～14時
内容：体操、生活相談等

4 松の家
活動場所：桜堤1-4-22　松露庵（古瀬公園内）
活動曜日・時間：毎月第3火曜日
13時30分～16時
内容：いつでも誰でも立ち寄れる、あなたの参加を"待つ"家

5 きらくら
活動場所：境5-6-20西部コミセン
活動曜日・時間：毎月第１日曜日 10時～13時
内容：日曜日の昼間に世代に係わらず「もうひとつのお茶の間」としてくつろぎと交流の場を提供

6 五丁目クラブ
活動場所：境5-28-4 境５丁目アパート集会所
活動曜日・時間：毎週木曜日 13時～15時
内容：カラオケ等

7 きんもくせい
活動場所：境4-10-4
活動曜日・時間：月曜日～土曜日 10時～16時
内容：ランチ／パソコン／書道／絵手紙等

8 ルンルンサロン
活動場所：境4-3-13 サンパレス１階
ルンルンファーマシーサン
活動曜日・時間：毎週土曜日 14時～16時
内容：朗読、折り紙、ペーパークラフト等

9 境学習室・自習室
活動場所：境2-6-43 武蔵境自動車教習所
活動曜日・時間：毎週水曜日 17時10分～19時
（※自習は20時まで可）
内容：第二小学校の児童を対象とした学習支援、第六中学校の生徒を対象とした自習場所の提供

10 日高サロン
活動場所：境南町3-1-10 日高荘
活動曜日・時間：毎週水曜日
13時30分～15時30分
内容：音楽療法、DVDコーラス、脳トレ等

10 3丁目ふぁんクラブ
活動場所：境南町3-1-10 日高荘
活動曜日・時間：毎月第３火曜日 10時～12時
内容：おしゃべり、手芸等

11 境南なでしこ会
活動場所：境南町 3-22-9 境南コミセン
活動曜日・時間：毎月第１水曜・第４木曜日
14時～16時
内容：絵手紙とスリーAゲーム、おしゃべりを中心に活動

12 Ｇｓガーデン
活動場所：境南町 3-25-4
ぐっどういる境南 屋上、山桃
活動曜日・時間：毎週木曜日 10時～12時
内容：脳トレ・屋上の畑や花壇の維持管理等

13 花時計
活動場所：境南町 2-25-3
活動曜日・時間：月曜日～金曜日 10時～16時
内容：ランチ／歌／折り紙／体操／手芸／パソコン／健康麻雀等

13 おしゃべりサロン
活動場所：境南町 2-25-3 テンミリオンハウス花時計
活動曜日・時間：毎月第１木曜日
13時30分～15時30分
内容：おしゃべり、手芸ほか好きなことをしてゆったり過ごす

14 すみれの家
活動場所：境南町 5-1-3 個人宅
活動曜日・時間：毎月第３金曜日 11時～14時
内容：空家となったオーナーの両親の家で、ゆったりとした空間を目指して活動中

15 はっぴーサロン
活動場所：境南町 2-10-24
第２ときわマンション 202
活動曜日・時間：毎月８日 10時～12時
内容：赤ちゃんから大人まで毎月楽しい企画あり

16 どんぐり広場
活動場所：境 1-2-4 タウンコート武蔵野 101
活動曜日・時間：毎週金曜日 14時～16時
内容：茶話会・健康相談等

17 マルセサロン
活動場所：境 1-17-9 カーサむさしの１階 Ｂ号室 マルセインターナショナル
活動曜日・時間：毎週水曜日
13時30分～15時30分
内容：朗読、脳トレ、ぬりえ等

18 関三俱楽部
活動場所：関前 3-37-24
活動曜日・時間：月曜日～日曜日 10時～16時
内容：一人ひとりのニーズに合わせたショートステイとミニデイサービス

19 すずらんお茶のみサロン
活動場所：関前 2-26-10 関前コミセン
活動曜日・時間：毎月第４月曜日 14時～16時
内容：編み物を習いながらお茶とおしゃべりを楽しむ

20 なのはなサロン
活動場所：関前 2-16-5 特別養護老人ホーム武蔵野館
活動曜日・時間：毎週日曜日10時30分～12時30分
内容：工作、音楽療法等

21 写経で脳イキイキ！
活動場所：八幡町3-3-16 八幡町コミセン
活動曜日・時間：毎月第２月曜日 10時～12時
内容：写経を通した交流の場、認知症予防

22 ペーパーアートの会
活動場所：八幡町3-4-18 親の家
活動曜日・時間：原則毎月第２水曜日10時～12時
内容：紙を使って地域の仲間づくりを広げる

23 健康マージャン
活動場所：関前３-16- 6 関前コミセン分館
活動曜日・時間：毎週火曜日 13時30分～16時
内容：60歳以上を対象として、認知症予防に効果があると言われている健康麻雀を行う。4~6卓を囲む。

24 いちょうなみ木サロン
活動場所：緑町２-６緑町二丁目第３アパート第２集会室
活動曜日・時間：毎週水曜日
13時30分～15時30分
内容：折り紙・輪投げ等

25 みどりの緑がわ
活動場所：緑町１-５-22
グリーンパーク商店街内
活動曜日・時間：毎週金曜日 11時～15時
内容：持ち寄ったものを皆で分けて食事をしたり、お茶を飲みながらお話をしたりする

26 まきばサロン
活動場所：西久保3-12-8
活動曜日・時間：毎週火曜日 12時～15時
内容：脳トレ等

27 ひつじ
活動場所：西久保3-11-14
活動曜日・時間：毎週水曜日 10時～12時
内容：音楽プログラム等

28 サンサンサロン西久保
活動場所：西久保3-10
都営住宅西久保三丁目アパート
活動曜日・時間：毎週金曜日 10時～12時
内容：昔遊び、歌、ゲーム、カレンダー作成等

29 川路さんち
活動場所：西久保1-34-2
活動曜日・時間：月曜日～金曜日 9時～16時
内容：ランチ／コーラス／書道／フラワー講座等

30 ふれあいルーム
活動場所：西久保1-23-7 西久保コミセン
活動曜日・時間：毎月第２水曜日
11時30分～昼食会 １３時～習字教室
内容：昼食会と情報交換会、習字教室

31 ひいらぎ健康サロン
活動場所：中町１-７-７ ２階
活動曜日・時間：毎週日曜日 10時～12時
内容：脳トレ等

32 りんどうの会
活動場所：中町３-５-17 中央コミセン
活動曜日・時間：毎月１回
内容：主に一人暮らし高齢者を対象としたサロン活動

32 親子ニコニコ広場
活動場所：中町３-５-17 中央コミセン
活動曜日・時間：毎月第３金曜日10時～12時
内容：０～３歳児とその保護者対象 自由遊びおもちゃの用意有り

33 ひびのさんち
活動場所：吉祥寺北町４-10-31 個人宅
活動曜日・時間：毎週火曜日 11時～15時
内容：お昼ごはんをみんなで作って食べたり、お茶を飲みながら話をしたりする

34 ふらっと・きたまち
活動場所：吉祥寺北町５-７-９
活動曜日・時間：火曜日～土曜日 10時～16時
内容：ランチ／ちぎり絵／押し花／体操等

35 くるみの木
活動場所：中町３-25-17
活動曜日・時間：月曜日～土曜日 9時30分～16時
内容：ランチ／体操／朗読／コーラス／手芸等

36 あじさいひろば
活動場所：吉祥寺本町3-20-17 吉祥寺西コミセン
活動曜日・時間：毎月第２・４火曜日 10時～13時
内容：地域の高齢者の集いの場。色々なプログラムやおしゃべりが楽しめる

36 ひろばひよこ
活動場所：吉祥寺本町3-20-17 吉祥寺西コミセン
活動曜日・時間：毎月第２月曜日 10時～12時
（祝日の場合第３月曜日）
内容：乳幼児親子たちが気軽に遊んだり情報交換が出来る

37 御殿山サロン
活動場所：御殿山2-10-9
介護付有料老人ホームアライブ武蔵野御殿山
活動曜日・時間：毎週水曜日 9時30分～11時30分
内容：講演、合唱、ゲーム等

38 にこカフェ
活動場所：吉祥寺北町１-22-10 吉祥寺北コミセン
活動曜日・時間：毎月第３火曜日 13時30分～
内容：お茶を飲みながらひと休みしませんか

38 にこにこ体操
活動場所：吉祥寺北町１-22-10 吉祥寺北コミセン
活動曜日・時間：毎月第１金曜日 10時～12時
内容：リハビリの先生による体操

39 北町サロン
活動場所：吉祥寺北町２-９-２
吉祥寺ホーム集会室
活動曜日・時間：毎週月曜日 13時30分～15時30分
内容：体操、脳トレ、音楽等

40 月見路
活動場所：吉祥寺北町１-11-７
活動曜日・時間：月曜日～土曜日 10時～16時
内容:ランチ／体操／絵手紙／俳句／歌の会等

41 きりん塾
活動場所：吉祥寺本町４-３-18
活動曜日・時間：毎月第１･３火曜日
13時30分～15時30分
内容：学びをテーマに様々な講座を企画

42 すこやかサロン
活動場所：吉祥寺本町2-23-７ 古屋学園学生会館
活動曜日・時間：毎週土曜日 10時～12時
内容：音読・計算ドリル等

43 みんなでカフェ
活動場所：御殿山１-５-11 御殿山コミセン
活動曜日・時間：毎月第１木曜日 14時～16時
内容：みんなでお茶・お菓子をいただきながらの楽しいおしゃべり

44 お茶々の会
活動場所：御殿山1-5-9
御殿山一丁目集会所（町会の家）
活動曜日・時間：毎月第2月曜日
13時30分～15時
内容：気軽に立ち寄れる居場所

45 茶楽会（さらくかい）
活動場所：吉祥寺南町1-11-6 ピアパブ・ローグ
活動曜日・時間：毎月第４木曜日 14時～16時
内容：くつろいだおしゃべりの場

46 公園口サロン
活動場所：吉祥寺南町１-17-7
活動曜日・時間：毎週火曜日
9時30分～11時30分
内容：卓球等

47・49・52 若葉会
活動場所：
吉祥寺本町１-22-2 本町コミセン 47
吉祥寺東町１-12-6 吉祥寺東コミセン 49
吉祥寺東町3-25-2 本宿コミセン 52
活動曜日・時間：毎月第４金曜日
13時30分～15時30分
内容：お茶を飲みながらの交流、おしゃべり等
※会場は３会場を順番に開催します

48 吉祥寺ささえあいビレッジ
活動場所：吉祥寺東町１-11-20 鴨下ビル３階
活動曜日・時間：毎週金曜日 10時～12時
内容：脳トレ、声楽、手話等

49 たんぽぽサロン
活動場所：吉祥寺東町１-12-６ 吉祥寺東コミセン
活動曜日・時間：毎月第２木曜日 10時～12時
内容：ささやかなお菓子で雑談をしながら交流

50 交流ハウス南町
活動場所：吉祥寺南町3-13-1 吉祥寺南町コミセン
活動曜日・時間：毎月第１日曜日11時～14時
内容：障がいのある人もない人も共に過ごす地域の交流の場

50・51・54 万友会
活動場所：
吉祥寺南町３-13-1 吉祥寺南町コミセン 50
吉祥寺南町３-22-８ 喫茶店ぶらんぽせ 51
吉祥寺南町3-45-10都営住宅集会所 54
活動曜日・時間：月１回 10時～
内容：ほどよいおつきあいの場
※会場は３会場を順番に開催します

53 そ～らの家
活動場所：吉祥寺南町5-6-16
活動曜日・時間：月曜日～金曜日 10時～16時、土曜日 9時30分～15時
内容：ランチ／合唱／書道／絵手紙等

54 オリーブサロン
活動場所：吉祥寺南町３-45-10都営住宅集会所
活動曜日・時間：毎週金曜日 13時～15時
内容：ゴムボール・ダンベルを使った体操等

※場合によっては参加費等の費用がかかるところもあります。
※内容は変更されることがあります。(平成３０年６月１日現在)
※本マップはおおむね月１回以上開催している場を掲載しております。
（夏休みや年末年始はお休みのこともあります。）
この他にも年数回開催している交流の場もあります。
お近くの交流の場を知りたい方や詳細については、右記までお問合せください。
※「コミセン」とは「コミュニティセンター」の略です。

問合せ
テンミリオンハウスおよびいきいきサロンについて
武蔵野市役所高齢者支援課 ☎60-1940
それ以外の場所について
武蔵野市民社会福祉協議会 ☎23-0701

市民社協 この10年間の主なできごと

［平成20年（2008年）4月～平成30年（2018年）3月］

※平成19年（2007年）までの事項は法人設立30周年記念誌に掲載していますので、この年表では平成20年（2008年）以降の事項を中心に記載しています。

法人設立以降の主なできごと

昭和37年 1962
- 「武蔵野市社会福祉協議会」設立

昭和53年 1978
- 「武蔵野市民社会福祉協議会」として社会福祉法人認可（4/24）
- 「ボランティアセンター武蔵野（VCM）」設立（5/29）

平成5年 1993
- 事務所移転（武蔵野市役所内から大東京信用組合吉祥寺支店ビルへ）

平成6年 1994
- 初めての民間人の会長誕生（水村七五三彦（しめひこ）氏）
  ※従来は市長が会長を兼任

平成7年 1995
- （第1次）武蔵野市地域福祉活動計画策定
- 市民社協と VCM が統合（4/1）
- 初めての地域社協である吉祥寺南町地域福祉活動推進協議会が発足

平成13年 2001
- 市内全域で 13 の地域社協となる

平成16年 2004
- 第２次武蔵野市地域福祉活動計画策定（３月）
- 「地域社協」と「地域ケアグループ」の統合

2008 平成20年度

4月

移送サービス（レモンキャブ）事業 開始
※武蔵野市委託事業 P7 参照

武蔵野市福祉公社から市民社協による実施となりました。運行管理者、運行協力員のご協力により、現在に至るまで、他の公共交通機関の利用が困難な利用者の生活を支えています。

法人設立30周年記念式典 実施

４月19日、武蔵野市民文化会館大ホールにて法人設立30周年記念式典を実施しました。式典のほか、記念講演（講師：神津カンナ氏）、武蔵野市老人クラブ連合会コーラス部によるコーラス等を行いました。

5月

伊藤平司会長 就任

２人目の民間人会長として伊藤平司氏が就任しました。
【就任期間】
平成20年（2008年）5月～平成24年（2012年）5月

7月

第20回七夕のつどい 実施 P9 参照
市民社協マスコットキャラクターあいあい発表

平成元年（1989年）の第１回から20回目の開催を迎え、法人設立30周年を記念して、公募・投票により選考されたマスコットキャラクター「あいあい」が発表されました。
（名称は改めて公募を行い、同年12月に決定）

8月

生活安定化総合対策事業開始
※武蔵野市委託事業

就労支援（就職チャレンジ支援事業）や学習支援（チャレンジ支援貸付事業）等を通じて、一定所得以下の世帯への支援を行う東京都の事業が開始され、武蔵野市を通じて市民社協が実施することになりました。

9月

使用済みインクカートリッジ回収ボックス 設置 P11 参照

コミュニティセンターやテンミリオンハウス、武蔵野市役所等の関係機関に回収ボックスを設置しました。

1月

ふれあい福祉学習検討委員会 発足 P9 参照

市内高齢者福祉事業所の有志職員により構成される「ふれあい福祉学習検討委員会」が発足し、市民の高齢者理解を深めることを目的として、出前講座プログラムの検討や市内小中学校での授業を始めました。

2009 平成21年度

6月

第10回お父さんお帰りなさいパーティ 実施

定年前後の男性の地域デビューを目的とした「お父さんお帰りなさいパーティ」が、平成12年（2000年）の第１回から10回目の開催を迎えました。「おとぱ」の愛称で親しまれ、市民からなる実行委員会が中心となって運営しています。

地域福祉ファシリテーター養成講座 開始 P9 参照

武蔵野・三鷹・小金井の３市・社協とルーテル学院大学の共催による養成講座が開催されました。

8月

武蔵野市民社会福祉協議会 中期計画 策定

市民や学識経験者、行政関係者等から構成される策定委員会により、市民社協の経営や事業、拠点（事務所）等に関する方針が示されました。
【計画期間：平成21年度（2009年度）～24年度（2012年度）】

地域社協運営委員研修実行委員会 発足 P12 参照

地域福祉活動に必要な知識やスキル、情報交換等を、活動に携わる委員自身が企画することにより、現在まで有意義な研修が行われています。

10月

生活福祉資金総合支援資金 開始
※東京都社会福祉協議会委託事業
P8 参照
住宅手当緊急特別措置事業 開始
※武蔵野市委託事業

リーマンショック［平成20年（2008年）］による景気悪化に伴い増加した失業者等に対し、生活を立て直すための費用の融資（総合支援資金）や、家賃の補助等を行う事業（住宅手当緊急特別措置事業）を市民社協が実施することになりました。

3月

テンミリオンハウス事業 10周年記念誌発行
※武蔵野市委託事業
P7, P13 参照

市民社協が運営団体の支援を行っているテンミリオンハウス事業が平成11年（1999年）の開始から10周年を迎え、市とともに記念誌を作成しました。

VCM 基本計画 策定

「VCM 基本計画＜2005－2009＞」の最終年度をむかえ、「市民に見える市民の参加しやすいボランティアセンターづくり」を目標とした「VCM 武蔵野基本計画＜2010－2012＞」を策定しました。

2010
平成22年度

4月

地域活動支援事業 開始
※武蔵野市委託事業

武蔵野市障害者福祉センター事業の再編により、同センターで行われていた事業の一部（障がい者のための講習会や、支援を目的としたボランティア育成事業 等）を市民社協が実施することになりました。

10月▼11月

レモンキャブ10周年記念交流会 実施
10周年記念誌発行
P7 参照

移送サービス（レモンキャブ）事業が、平成12年（2000年）10月の本格実施（3月～9月はモデル事業）から10周年を迎え、記念誌の発行や、記念交流会を行いました。

3月

市民社協事務所移転

武蔵野市による賃貸借契約期間の満了や、建物の老朽化等により、大東京信用組合吉祥寺支店ビルから現住所（吉祥寺北町1-9-1）に事務所を移転しました。

ボランティアセンター武蔵野中町分室での活動開始
P5 参照

事務所移転に伴い、旧事務所で行っていた市民活動（お仕事サロン等）の一層の充実のため、武蔵野市が所有する建物を借り受け、「ボランティアセンター武蔵野中町分室」（中町3-28-14）として活動を開始しました。

生活安定化総合対策事業終了
P8 参照
※武蔵野市委託事業

東京都の方針により終了となりましたが、このうち「チャレンジ支援貸付事業」は、低所得者・離職者対策事業の一環として「受験生チャレンジ支援貸付事業」に名称を変え、現在まで市民社協が実施しています。

2011
平成23年度

4月▼11月

東日本大震災被災地支援事業 実施

平成23年（2011年）3月11日に発生した東日本大震災に伴い、被災地を支援するための事業を行いました。多くの市民の皆様のご協力による緊急支援物資の呼びかけや輸送、職員や災害支援ボランティアの派遣、被災地支援団体に対する支援等を行いました。

2月

ボランティアフェスタ実施

ボランティア団体の活動紹介と団体同士の連携を深めることを目的に、VCM登録団体による「ボランティアフェスタ」を同年度7月にオープンした武蔵野プレイスにて実施しました。

2012
平成24年度

5月

小美濃純彌（じゅんじ）会長 就任

3人目の民間人会長として小美濃純彌氏が就任しました。
【就任期間】
平成24年（2012年）5月～　現在

6月

東日本大震災市内避難者支援事業 開始
P8 参照

東日本大震災の影響により、武蔵野市にも大勢の方が避難され、避難者同士の交流等を目的とした事業を開始しました。

10月

第40回ドライブレクリエーション 実施
※東京都個人タクシー組合武三支部協力
P9 参照

障がい者の社会参加、ボランティアとの交流等を目的として、昭和48年（1973年）から実施するドライブレクリエーションが40回目の開催を迎えました。

11月

武蔵野地区配分推せん委員会発足

東京都共同募金会による共同募金改革に基づき、学識経験者や市民、企業、行政等の委員により構成される武蔵野地区配分推せん委員会が発足しました。
プレゼンテーション等の審査により、市内で集められた募金を、市内のニーズに基づいて配分するための取り組みを行っています。

12月

歳末たすけあい・地域福祉活動募金に名称変更
P11 参照

歳末たすけあい運動は、生活に困窮する人への支援を目的として行われてきましたが、近年は全都的に地域福祉活動に重点的に配分されていることから、武蔵野市では「歳末たすけあい・地域福祉活動募金」の名称に改めることになりました。

3月

第3次武蔵野市地域福祉活動計画 策定

市民や学識経験者、関係機関、行政等から構成される策定委員会により、地域福祉コーディネーターや居場所づくり、総合相談の機能や、地域社協の更なる発展等を中心とした方針が示されました。
【計画期間：平成25年度（2013年度）～29年度（2017年度）】

インターンシップ事業終了

大学との連携による人材育成を目的として、平成16年度（2004年度）より開始しましたが、事業体制の見直しにより、終了しました。

2013
平成25年度

9月

むさしのFM（78.2MHz）時報 CM 開始

市民社協のPRのため、職員の作詞・作曲、4団体の市民の歌唱による「社協ジングル」を作成しました。
13時の時報CMとして、現在まで日替わりで放送しています。

3月

結婚相談事業 終了
※武蔵野市婦人団体連絡協議会 協力

昭和50年（1975年）より実施されてきましたが、他の民間団体でも同様の事業が行われていることや、個人情報保護等の課題により、終了しました。

2014
平成26年度

4月

職員派遣研修　実施
（正規職員１名）

市民社協の地域福祉活動支援の一層の充実のため、派遣研修として、武蔵野市との人事交流を行いました。
【派遣期間】平成26年（2014年）4月1日～平成29年（2017年）3月31日

6月

吉祥寺北町事務所（現事務所）購入

市民により構成された社屋検討委員会での協議を経て、武蔵野市福祉公社と共同で吉祥寺北町事務所を購入しました。

7月

市民社協マスコットキャラクター誕生５周年　企画
あいあいイラストコンテスト実施

誕生５周年を記念して、あいあいのイラストを公募しました。投票により金賞１点、銀賞２点、あいあい賞２点が選ばれ、現在まで事業のPR等に活用されています。

3月

住宅支援給付事業　終了
※武蔵野市委託事業

国の方針により、住宅支援給付事業（平成25年度に住宅手当緊急特別措置事業から名称変更）が終了しました。生活困窮者自立支援事業の一環として、住居確保給付金支給事業に名称を変え、平成27年度（2015年度）からは武蔵野市福祉公社が実施しています。

2015
平成27年度

5月

ボラカフェ　開始

VCMのPRと活動会員・施設ボランティアコーディネーターの交流・情報交換の場づくり等を目的として、市民社協事務所にて実施しました。

10月

第８回親子でサッカー観戦レクリエーション 実施
※東京武蔵野中央ロータリークラブ 主催
※東京フットボールクラブ株式会社、関東バス株式会社　協力

障がいのある子どもと保護者を招待し、味の素スタジアムにてJリーグFC東京のサッカー観戦を行いました。平成19年度（2007年度）から計８回にわたり継続して実施されました。※平成20年度（2008年度）は未実施

第20回チャリティゴルフ大会実施 P9 参照

ゴルフを楽しみながら福祉に貢献できる「チャリティゴルフ大会」が平成８年度（1996年度）の開始から20回目の記念大会を迎えました。

1月

第10回防災ボランティア訓練実施
※武蔵野市　主催

大規模災害時に、市民社協が武蔵野市民文化会館に開設する「災害ボランティアセンター」の運営訓練が、平成18年度（2006年度）の開始から10回目の実施を迎えました。武蔵野市の主催のもと、関係機関・団体の協力により実施されています。

3月

市民社協 Facebook の開設
P10 参照

市民社協の事業や、地域活動等のPRのため、Facebookを開設しました。

2016
平成28年度

4月

地域専任担当職員　配置 P12 参照

第３次武蔵野市地域福祉活動計画の方針に沿い、地域福祉活動支援の一層の充実のため、３圏域（西部・中部・東部）に１名ずつ地域専任担当職員を配置しました。

熊本地震被災地支援事業 実施

平成28年（2016年）４月14日に発生した熊本地震による被災地支援のため、市民と社協職員による街頭での義援金募集を行いました。また、「菊池市災害支援ネットワーク」に参加し、現地視察や物産販売等を通じた支援を行いました。

シニア支え合いポイント事業 開始
※武蔵野市委託事業
※本格実施は10月から P6 参照

65才以上の市民が行う社会参加・貢献活動にポイントの付与、還元を行う事業を市民社協が実施することになりました。

7月

身近な地域の居場所づくり助成・支援事業　開始 P6 参照

第３次武蔵野市地域福祉活動計画の方針に沿い、市民同士の顔の見える関係づくりの促進のため、「身近な地域の居場所づくり助成・支援事業」を開始しました。

3月

障害者講習会事業 受託終了
※武蔵野市委託事業 P9 参照

武蔵野市障害者福祉センター事業の再編・指定管理者制度への移行により、同センターで行われていた障害者を対象とした講習会は、指定管理者が実施し、市民社協は「心のバリアフリー事業」と「ボランティア育成事業」を「障害者支援活動事業」として継続して実施することになりました。

2017
平成29年度

4月

あいあい LINE スタンプ作成 P10 参照

市民社協のPRのため、LINEスタンプを作成し、販売を開始しました。

7月

九州北部豪雨災害義援金 街頭募金実施

平成29年（2017年）7月5日～6日にかけて発生した九州北部豪雨による被災地支援のため、市民と社協職員による街頭等での義援金募集を行いました。

8月

市民社協バザー 実施

市民社協の自主財源の増加や、PR等を目的として、吉祥寺北町事務所にてバザーを実施し、市民の皆様からご寄付いただいた食器や生活雑貨、衣類、古本等の販売を行いました。

8月▼9月

身近な地域の居場所づくりミニ学習会＆交流会開催

居場所づくりに関心のある方を対象に、居場所についての説明や居場所づくりに取り組んでいる団体からの実践報告、交流会を開催しました。

8月

法人設立40周年記念事業実行委員会発足

平成30年（2018年）4月に迎える法人設立40周年のため、市民により構成される記念事業実行委員会が発足し、記念式典と記念誌の各小委員会に分かれて準備を進めることになりました。

11月▼3月

法人設立40周年記念事業「表現ワークショップ」実施

法人設立40周年記念事業実行委員会において、記念式典で市民参加型の演劇を上演することが決まり、出演者の募集を兼ねたワークショップを開催しました。未就学児から80代まで幅広い年代の方々にご参加いただきました。

法人設立４０周年記念事業実行委員会委員名簿（順不同）

記念式典担当

◎ 千種　豊	後藤　真澄	塩入　由美
吉岡　諒子	宮下　龍介	中里　崇亮
鈴木　佳与子	田中　行子	渡部　敏夫
川鍋　和代		

記念誌担当

○ 栖雲　勅子	※～平成 30 年４月	
松井　浩子	※平成 30 年５月～	
酒井　陽子	後藤　肇	
原　利子	伊藤　奈美予	
島田　豊文	加藤　好世	

（◎: 委員長　○副委員長）

～記念誌の発行にあたって～

記念誌の発行にあたっては、多くの皆様に祝辞や寄稿、写真の提供等ご協力いただき、誠にありがとうございました。

第１回の小委員会において、どのような記念誌にするか意見交換を行いました。「あまり分厚い冊子は読んでもらえないよね」「市民社協が何をしているところか、もっと分かりやすくしたい」「色々な所で手に取ってもらえるような形にしてはどうか」「出かける場の地図もほしい」等の意見がでて、記念誌ではあるけれど、市民社協のことや地域活動について多くの方に知っていただけるような冊子を目指すことになりました。

その後、記念誌全体の構成を検討し、複数のデザイン案を比較しながら、発行に向けた準備を進めてきました。特に、表紙は市民社協の基本理念である「みんなが主役」を表現するために、多くの皆様の写真を活用して「４０」の文字を描きました。

この記念誌をきっかけに、市民社協のこと、地域活動のことをより多くの方に知っていただき、ご参加いただけることを願っております。

法人設立４０周年記念事業実行委員会記念誌担当小委員会　委員一同